

令和5年9月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 令和5年9月28日(木) 午前9時00分
役場3階 大会議室
- 2 出席委員 北村教育長 松尾委員 堤委員 川崎委員 一ノ瀬委員
- 3 事務局職員 出雲学校教育課長 矢川生涯学習課長 梅木主任指導主事
永石新しい学校づくり専門監 山下学校教育課課長補佐
永尾生涯学習課課長補佐 吉原学校教育課課長補佐
喜多指導主事 堤教育総務係長 今福学校教育係長
本山新しい学校づくり係長 池田新しい学校施設係長
下平指導主事 武富指導主事 廣滝生涯学習係長
- 4 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 5 会議に附した議案 なし
- 6 動議の提出者 なし
- 7 議事の概要 別紙資料のとおり
- 8 議決事項 なし
- 9 その他
 - ・事務局からの報告
 - ・傍聴者 なし

1 開 会 8:55～

出雲課長

2 前回議事録の承認 8:56～

7月定例教育委員会の会議録を資料により説明。

委員全員承認

3 教育長の報告 8:58～

(前回以降の主な動向)

資料より数点を内容紹介。

8/23 第1回白石地域新設小学校基本構想・基本計画策定委員会

白石地域の4小学校統合後の新しい学校の構想(位置、規模等の検討)

8/25 福富子ども浮立大会

4年ぶりの開催。

8/31 ポニーリーグ世界大会優勝選手表敬訪問

白石中学校3年生の川崎君(U-14)、同じく1年生の池上君(U-12)が出場。

川崎君は決勝戦でワシントンと対戦し8対2で勝利、池上君は決勝戦でドミニカと対戦し15対0で勝利し世界制覇しています。二人とも硬式野球チーム(佐賀ヴィクトリー)に所属しています。

9/11 町議会9月定例会(～15日)

今回は議案が14件、一般質問は9名が質問され、そのうちの4名の質問が教育委員会関係の案件でした。

9/11 町学力向上対策委員会

教育事務所から来ていただき、全国学習状況調査、佐賀県学習状況調査の分析及び傾向を確認しました。

9/15 第75回全日本総合女子ソフトボール選手権大会(～18日)

17日の雨の影響で決勝戦はなく、2チームが同時優勝となり、ビックカメラ高崎ビークイーン(群馬県)とトヨタレッドテリアーズ(愛知県)が優勝されました。

9/22 アルティメット世界大会第3位福田選手表敬訪問

7人制のチームスポーツで、フィールド内でフライングディスクを落とさずにパスしながら運び、コート両端のエンドゾーン内でディスクをキャッチすれば得点となるスポーツです。

資料により概要の報告

- ・ SAGA2024 国スポ・全障スポについて（現時点での概要説明）
- ・ 教職員の交通事故発生（加害等）状況調べ（令和5年8月31日現在）
8月は、県全体で7件（杵西・藤津地域は0件）
- ・ 令和6年度佐賀県公立学校教員採用選考試験の結果について
- ・ 県内児童虐待 最多1085件（全国では21万9170件）
- ・ 学習端末更新（GIGAスクール構想）白石町は令和8年度に更新予定

4 連絡事項 9:25～

(1) 問題行動等月別報告について

武富指導主事：資料により詳細説明。

8月現在の不登校の状況ですが、夏休み期間であるため、各学校の登校が5日間程度であり、大きな変化はなかったと思われます。不登校生徒ですが、中学校で1名新たに出ておりますが、不登校ではなく、病気で入院されたりして欠席日数が20日間を超えたためだと聞いています。中には、不登校が改善されつつある生徒もおります。いじめに関しては、新たな事案は発生しておりません。

出雲課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

一ノ瀬委員：有明東小学校の子供さんは欠席総数がゼロなので、不登校傾向として扱われているのですか。

武富指導主事：有明東小学校の子供さんについては、不登校としては扱われませんが、欠席はしており、病欠扱いとなる子供さんです。そういう子供さんが他にも数名おられます。

一ノ瀬委員：小中学校にたまに行きますが、遅刻して来る子供さんがおられます。学校としては、遅刻しても登校してくれればよいと思われていますが、その子供さんが抱えている問題解決にはならないし、この資料ではそこまで確認できないと思いました。SSW（スクールソーシャルワーカー）、SC（スクールカウンセラー）へ繋がると学校はされていますが、なかなか保護者の了解が得られないという状況もあると思われます。そういう事についても、指導主事の方で話を聞いていただき、繋いでもらえたらと思いました。よろしくお願いします。

喜多指導主事：学校で気になる子供さんだったり、支援が必要なご家庭があります。ケース会議が開かれる際は、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの先生方にも参加していただき、それぞれの役割を確認し、対応していただいております。スクールソーシャルワーカーの先生には、不登校を未然に防ぐ役割も担っていた

だいております。今年度からですが、来年度から中学校が1つになるため、幾つかの小学校で6年生を対象に個人面接を行っている小学校があります。スクールソーシャルワーカーの先生と今、思っている不安だったり、今後の悩み等について話し合い、不登校を未然に防ぐ一環として活動していただいております。

出雲課長：この件について、他にご質問等ないでしょうか。

川崎委員：今もスクールソーシャルワーカーの方が6年生を対象に個人面接を行っているとのことですが、学校側からアプローチをし面接を勧めたのか、個人面接について広く周知した上でやっているのかをお聞きします。

喜多指導主事：スクールソーシャルワーカーの先生が、ある学校ではすべての小学6年生を対象に面接を行ったことがある事案等を別の学校で話され、情報共有しながら取り組みをされていたと聞いています。

川崎委員：直接現場に入っただき、対応していただけるのは、ありがたいと感じました。

一ノ瀬委員：子供の不登校だけではなく、学校訪問の際に支援が必要な子供さんが何人かおられ、その子供さん一人一人にスクールアシスタントの方が一人ずつ付いておられました。スクールアシスタントの配置についてですが、年間決められた時間数で配置されているかと思いますが、状況によっては、スクールアシスタントを増やした方がいいような学校もあると思います。白石町では、スクールアシスタントの配置について手厚く支援されていることも知っていますが、もう少し配置について検討していただければと思います。

喜多指導主事：スクールアシスタントの配置については、学校の裁量と聞いています。配置については、各学校に合った配置はなされていると思われる。増員を要望されている学校もあり、増員する予定はありますが、今、人材を探している状況です。

一ノ瀬委員：増員計画があることを聞き、安心しました。

出雲課長：この件について、他にご質問等ないでしょうか。

(全委員承諾)

(2) CSW (キャリア・スタート・ウィーク) 生徒アンケート結果について

喜多指導主事：資料により詳細説明。

8月23日から25日までの3日間、キャリア・スタート・ウィークを実施しました。今後、コロナの状況も心配されましたが、どの事業所からも受け入れをしていただきました。全部で173人の子供さんが貴重

な体験をされています。事業所については、67の事業所が受け入れをしていただきました。

出雲課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

(全委員承諾)

(3) 新しい学校づくり準備委員会の報告について

本山係長：資料により詳細説明。

有明地域新設小学校においては、準備委員会を進めております。有明地域新設小学校の校訓(案)については、まず学校運営部会で協議し、その後総務部会、全体会で協議いたしまして承認をいただいております。校訓としましては、ひらながで「ひらく」とし、これには3つの意味があります。

一つ目は、知を啓く(主体的に学び続ける)

二つ目は、心を開く(思いやりを持ち、他人とつながる)

三つ目は、未来を拓く(なりたい自分を見つけ、挑戦する)

この三つの漢字の「ひらく」を意味として考えています。

「校名」については、公募することで決定しております。公募方法としましては、全戸配布としますが、今回は有明地域のみ全戸配布とし、他の地域については回覧でお知らせします。

「制服」については、はじめに制服にするのか、私服にするのかを決めなければいけません。まずアンケートを取ろうと考えております。アンケートについても有明地域のみを考えております。

「通学支援」については、まず自転車通学が必要なのかを検討した結果、「自転車通学は行わない」ということで決定しました。今後、スクールバス等の通学支援について検討していくこととなります。

出雲課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

一ノ瀬委員：一つ目は、この言葉を見た時に、6才から12才の子供達には大変難しい言葉だと感じました。他の高校の校訓に、「自己を開く」・「知を啓く」・「未来を拓く」とあります。高校の校訓としては使われていますが、小学校の校訓としては難しいと感じなかったのかなと思いました。

二つ目は、知が啓く(啓林館)と記載されていますが、教科書等を扱う出版社である啓林館のスローガンをそのまま使用してもいいのかと思いました。

三つ目は、「啓く」という言葉の意味として、教え導く、物事を理解させる等の意味であり、教師側からの目線であり、主体的に学び続けると合わないと感じました。

四つ目は、「心を開く」というのが、現代の教育に合っているのか、疑問に感じました。現在、心を開けない子供達がたくさんいて、学校としても厳しい課題なのに、「心を開きなさい」というのが校訓として合っているのかと感じました。町内小学校の校訓でいえば、須古小学校は「知・仁・勇」、六角小学校は「根気強く」、有明南小学校は「強く、正しく、美しく」等があります。小学生に分かりやすい言葉、あるいは分かりにくい言葉でも出典がはっきりしていれば分かりやすく説明できると思います。

武富指導主事：「啓く」という漢字は小学校では習わない漢字ではないかと部会でも意見が出ました。これを校訓とし長い月日でみた場合、その字というのは自然に馴染んでいくものと考えます。準備委員会としては、この校訓で承認を得ておりますので、あとは新設小学校の方で子供達に説明し、伝えていければと思います。校訓（土台）が決まれば、その後の教育目標等も決まっていくと考えます。

教 育 長：校訓の原案を作成し、一ノ瀬委員さんが言われた事等も含めた上で色々と議論してきました。色々な意見を検討した上での結果となりました。校訓は「ひらく」でいいと思いますが、難しい意味については、子供達に分かりやすく説明し、伝えていくことが大事だと考えます。原案をたたき台として、部会、準備委員会で検討された結果ですので、ご理解いただければと思います。

出雲課長：教育委員会は合議制の執行機関ですから、最終的には物事を決定していきます。学校づくり準備委員会というのは、教育委員会の承認を得た委員会であり、学校づくり準備委員会で決められない事案を教育委員会で決定する事もあるかと思えます。校訓の決定については、部会で検討し、それを更に学校づくり準備委員会でも検討した上で決定したことをご理解いただければと思います。

堤 委員：校訓ではありませんが、校名については公募するという事で、方針が決定したと先程お聞きしました。あと校歌、制服の問題が出てくるかと思えますが、中学校の準備委員会の時に限られた会議の中での検討、あと事務的にも膨大な作業が出てくると感じました。小学校としては3校となり、それぞれの地域で1校となるため、基本的に有明地域の事は有明地域内でコンセンサスが得られれば自由に決めてもらっていいと考えます。何が言いたいかという、校名とか校歌を決める際に、中学校の時に行った膨大なプロセスをまたこなすのかということです。校歌においては、有明地域の小中学校の校歌を利用して検討していく案を、教育委員会あるいは事務局の案として学校づくり準備

委員会に提案することも一つの方法だと思います。もしそれでいいのであれば、準備委員会、事務局にも時間的な余裕ができると思われま
す。その余裕ができた時間の中で、今後の学校の在り方等の本質的な
部分の検討ができるのではないかと思います。有明地域の中でコン
センサスが得やすいのであれば、校名や校歌等に膨大な事務作業だ
ったり、準備委員会の時間を割かなくてもいいのではないかと考えま
す。コンセンサスは比較的容易だと思われますので、検討していただ
ければと思います。

本山係長：校名につきましては、準備委員会に提案することも検討しました。1
回目の準備委員会の際に、有明小学校ではどうかとか色々な意見もあ
りましたが、最終的には公募に決定いたしました。校歌についてはこ
れから協議していきますが、貴重なご意見を事務局でも検討し、準備
委員会を進めていきたいと考えています。

教 育 長：先程、堤委員さんが言われたことを私も考えていました。しかしなが
ら準備委員会の状況を見てみると、一部の意見を検討し決めること
について合意を得るのは容易ではないと感じました。幅広く意見を求め、
そのプロセスも大事だと思います。時間と労力を要すると思われま
す。

堤 委員：校歌については、旧有明地域で育んできた事をそのまま引き継ぐ形に
なったので、あまり反対もない気がしています。有明地域の学校を卒
業した人は今の校歌を歌ってきているので、それが残ることはいい事
だと思います。校歌についても著作権の関係が出てくる可能性があ
りますので、注意していただければと思います。

出雲課長：この件について、他にないでしょうか。
(全委員承諾)

(4) 9月議会の概要について（一般質問）

出雲課長：資料により詳細説明。

重富議員 質問：学校給食の無償化に向けての町長の考えを問う。

回答：小学6年生と中学3年生を無償化している。大幅な歳入の増
加が見込めない中において、公共施設の統廃合など大きな事
業を抱えていることを町民の皆様も情報として共有して
いただく必要がある。引き続きあらゆる角度から考えていく。

友田議員 質問：子供たちが着用しやすいよう中学校のヘルメットを指定品で
はなく、ある程度自由にしてはどうか。

回答：生徒会やPTA、教職員でルールの変更をしていくことは可能
と考える。ヘルメット着用の目的は、生徒の生命の安全確保。

この安全の確保を命題としたうえで、広く検討していいのではと考える。

質問：小中学生の登下校時の荷物が重すぎるのでは。

回答：1年生から6年生まで体格や体力もまちまちであるという状況を十分に共有し、どの程度の荷物ならば負担過多とならないかなど十分に把握する機会が必要だと考える。学校への周知について、引き続き行い、適切な荷物量や持ち帰り等の工夫について共通理解が図れるよう努めていきたい。

質問：熱中症対策で水筒が大きく且重くなっている。浄水器等設置して水分補給ができるように取り組めないか。

回答：栄養管理を実施している学校給食を導入している観点から考えても、購買や自動販売機等を設置し児童生徒の補食面をサポートすることは難しいと考える。あわせて校内における金銭面の管理や購買等の管理運営についても課題が多く、現時点でその考えはない。水筒については登下校時も含め、水分補給がしやすいという利点があり、引き続き持参をお願いしたいと考えている。

内野議員 質問：文化財の保護管理には力を入れてほしい（須古城、道祖谷古墳など）

回答：須古城については、現在国史跡指定を目指し、調査事業を実施しているところです。また、常時、城跡見学ができるように環境整備の実施や出前講座などで周知PRにも努めていく。歌垣公園内にある道祖谷古墳については、同時期の県内の前方後円墳としては最大規模であり、平成10年に県の史跡に指定されている。貴重な古墳が町内に存在することについて生涯学習講座などを活用し、周知を図っていきたい。

質問：資料館等の設置に向けて準備すべきである。

回答：歴史資料、民族資料を適切に保存、展示することは必要だと思っている。資料館等の整備については、今後学校再編を含めた施設の統廃合、公共施設跡地の利活用等による機能や配置の適正化を進めていく中で、前向きに検討していきたいと考える。

川崎委員：友田議員の質問で、水筒が大きく且重くなっているとありますが、登下校時の子供が走ったりした時に、転んで水筒が腹腔内臓器に損傷を与えるという事故が増えていますので、気を付けてほしいと思います。

一ノ瀬委員：友田議員の質問で、登下校時の荷物の件ですが、持ち帰る荷物等の

工夫をお願いしたいと思います。子供によっては下校時、水筒が空になり、水道水を入れて飲んでいる子供もいます。

松尾委員：今も冷水機は学校にあるのですか。

出雲課長：以前はありましたが、今は無いと思います。

出雲課長：この件について、他にないでしょうか。

(全委員承諾)

(5) 10月行事予定表について

堤 係長：資料により詳細説明。

矢川課長：令和5年度町民スポーツ大会の役職割振りをしていますので、教育委員さんの出席、よろしくをお願いします。

出雲課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

(全委員承諾)

出雲課長：次回の教育委員会の日程を決めたいと思いますが、10月23日(月)、10月24日(火)で考えていますが、いかがでしょうか。

それでは、10月24日、火曜日の午前9時から開催したいと思います。

(6) 学びの交流について

武富指導主事：資料により詳細説明。

8月24日(白石地域4小学校と福富小学校：福富ゆうあい館)、
8月25日(有明地域3小学校：有明公民館)町内小学校6年生の
交流会が開催されました。グループに分かれ、まず自己紹介を行
い協力しながら楽しくゲームをしていました。新白石中学校での
再会を楽しみにしている声も聞かれました。

8月28日須古小学校6年生が白石町の歴史や文化に触れながら短
歌づくりを行いました。一ノ瀬委員さんにも参加していただき、
色々とアドバイスをいただきました。

堤 委員：白石中学校の開校に向けた取り組みということで、今の有明、福富の
中学2年生と中学1年生は4月の入学前に白石中学校を訪問する機会
(施設見学等)はありますか。

下平指導主事：特別支援学級の子供達は、新しい増築棟(教室)の見学を行いま
した。今の中学2年生と中学1年生の校舎の見学等については、
今のところ予定はありません。来週、学校運営部会がありますの
で、その時に提案したいと思います。

堤 委員：今の中学2年生は今度3年生になり、下級生をリードしていく立場な

ので、中学2年生だけでも施設の見学ができればと思いました。

一ノ瀬委員：オープンスクール的な感じで見学会を開設してもいいと思います。

川崎委員：町内小学校6年生交流会の開催予定がありますか。3つの地域の小学校が合同で開催されたことが無いと思いますが。

武富指導主事：今のところ予定はありませんが、町内全小学校合同で開催するのは難しいと思われます。

出雲課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

(全委員承諾)

社会教育委員との意見交換会について

廣滝係長：口頭にて詳細説明。

5月に開催されました佐賀県社会教育委員連絡協議会総会において、本年度の活動方針として、「社会教育委員は地域の学校、地域で育てる子ども」をテーマに学校教育と社会教育の連携を進めよう、また教育委員との意見交換の場を設け、協議を深めようという議案が承認されました。それに伴い、社会教育の現場の声を教育委員の皆様にお届けするという意味合いもあり、意見交換の場をいただきたいと考えております。11月の教育委員会の開催時に意見交換会を行いたいと考えています。生涯学習課の案としまして、11月22日(水)に開催できればと考えています。11月22日ですが、14時から意見交換会を開催し、15時から教育委員会をお願いできればと思います。

堤委員：意見交換会はいいのですが、具体的な意見交換の内容を決めておいた方がいいのではと思いますが。

廣滝係長：生涯学習課で考えていますが、まず最初に教育委員と社会教育委員の連携の在り方について説明をさせていただき、県社会教育委員連絡協議会の方で提案されております、地域の学校、地域で育てる子供という大きな柱を基に、意見交換をしていただきたいと考えております。詳細については、今後検討させていただきます。

よろしく申し上げます。

出雲課長：この件について、他にないでしょうか。

(全委員承諾)

堤委員：新設中学校の施設についてですが、トイレの洋式化率は何%ですか。

出雲課長：洋式化率は100%です。

堤委員：学校のトイレの洋式化については、おそらく県内で60%程だと思われます。学校のトイレについては保護者、あるいは社会的にも注目が高

いので、「トイレ洋式化率 100%の新設中学校」として何かしらアピールできるのではないかと思います。

一ノ瀬委員：学校への欠席連絡は重要であり、連絡する時間帯があるので、保護者としてはとても大変だと思います。新設小学校ができる際に、欠席連絡の方法としてシステムまたはアプリ等で連絡がとれる体制ができればと思います。今、町内の学校でそういう体制が整っている学校はありますか。

出雲課長：現在、そういう学校はありませんが、土日については、役場に電話していただければ取り次ぐようにしています。新設中学校の電話機には、留守電機能が付いています。アプリの活用については、今後検討していきたいと思います。

5 閉 会 11:25
出雲課長